

2021年12月 教会行事予定表		
	曜	午 前 午 後
1	水	
2	木	入門講座 18:00
3	金	入門講座（登別教会）10:30
4	土	ミサ 10:00 掃除当番蘭岳地区
5	日	ミサ9:30 典礼当番（楽山） 運営委員会
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	入門講座 18:00
10	金	入門講座（登別教会）10:30
11	土	ミサ 10:00 掃除当番蘭岳地区
12	日	集会祭儀9:30 典礼当番（太平洋）クリスマス飾りつけ
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	入門講座 18:00
17	金	入門講座（登別教会）10:30
18	土	ミサ 10:00 掃除当番蘭岳地区
19	日	ミサ9:30 共同回心式 典礼当番（白鳥）
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	降誕祭（夜半）ミサ 登別教会18:00 東室蘭20:00
25	土	降誕祭ミサ（日中）9:30
26	日	集会祭儀 9:30 典礼当番（楽山）聖家族の祝日
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	
1	土	ミサ10:00 神の母生マリアの祝日
2	日	ミサ10:00 主の公現の祭日 典礼当番（太平洋）
3	月	ミサ10:00

月	11	12	1	2	3
第一主日		楽山	太平洋	蘭岳	蘭岳
第二主日	楽山	太平洋	蘭岳	蘭岳	太平洋
第三主日	蘭岳	白鳥	楽山	白鳥	太平洋
第四主日	白鳥	楽山	白鳥	太平洋	楽山
第五主日			太平洋		
掃除当番	楽山	蘭岳	太平洋	白鳥	蘭岳

コロナ禍を生きる教会

左の表は典礼当番の地区表です。
ミサ・集会祭儀の参加地区は当分決めません。
互いに密にならないよう気をつけて自由に参加して下さい。

2021
11/14

ひとつになるう
カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行


カトリック東室蘭教会
〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
☎0143-44-3851

新型コロナウイルス ワクチン

日本国内の開発・接種状況は (11月10日更新)

前田雄樹



新型コロナウイルス対策の切り札として期待されているワクチン。接種の状況や供給の見通しなど、国内の動向をまとめました。

74%が2回接種

政府のまとめによると、11月9日公表時点の国内の新型コロナウイルスワクチン接種回数は1億9261万138回。総接種回数のうち、1回目は9884万7347回、2回目は9376万2791回で、1回以上接種した人は人口の78.1%、2回の接種を完了した人は74.0%。優先接種対象の高齢者では、91.7%が1回以上接種を受け、90.9%が2回接種を完了しています。

接種のスタートで遅れをとった日本ですが、英オックスフォード大の統計サイト「Our World in Data」によると、2回接種した人の割合は先行していた米国や、先進国で最も早く接種を開始した英国を抜きました。

厚生労働省によると、10月3日までに報告された副反応疑いの頻度は、2月から接種が行われているファイザー製で0.02%（2万3903例/1億4144万2370回）、5月から接種が行われているモデルナ製が0.01%（3373例/2770万1010回）、8月から接種が行われているアストラゼネカ製は0.01%（3例/5万1937回）。厚生省の専門家部会は「いずれのワクチンも、安全性の重大な懸念は認められない」と評価しています。

10月3日までにアナフィラキシーが疑われるとして報告があったのは、ファイザー製で2757件、モデルナ製で449件、アストラゼネカ製で19件。このうち、国際分類に照らしてアナフィラキシーに該当すると判断されたのは、ファイザー製527件（接種100万回あたり4件）、モデルナ製44件（接種100万回あたり1.6件）で、アストラゼネカ製は0件でした。いずれのワクチンでも、疑い例も含めてほとんどの症例が治療によって軽快・回復しています。

接種後に心筋炎や心膜炎を発症したとして10月3日までに報告があったのは、ファイザー製で160件、モデルナ

製で93件、アストラゼネカ製0件。接種100万回あたりの報告件数は、ファイザー製が1.1件、モデルナ製3.4件となっています。心筋炎関連事象の報告頻度はファイザー製で20代男性、モデルナ製で10代・20代の男性に多く、厚生省は「接種体制に影響を与える重大な懸念は認められない」としつつ、ファイザー製とモデルナ製で添付文書を改訂するなどして注意喚起。10代・20代男性の心筋炎関連事象の報告はファイザー製に比べてモデルナ製で明らかに高いことから、1回目にモデルナ製を接種した人でも2回目はファイザー製の接種を受けられるようにしています。

接種後に報告された死亡例は、10月3日時点で両ワクチンあわせて1255件（ファイザー製1218件、モデルナ製37件）。厚生省は「現時点では、ワクチンとの因果関係があると結論づけることのできた死亡例はなく、接種と疾患による死亡との因果関係が統計的に認められた疾患はない」としています。

3つのワクチンが使用可能

日本政府が2021年分として確保しているワクチンは、ファイザー製が1億9400万回分（9700万人分）、モデルナ製が5000万回分（2500万人分）、英アストラゼネカ製が1億2000万回分（6000万人分）。ファイザー製は今年2月、モデルナ製とアストラゼネカ製は今年5月に承認され、国内では現在、3種類の新型コロナワクチンが使用可能となっています。

アストラゼネカのワクチンは、海外で接種後に血小板減少を伴う血栓症を発症したケースが報告されていることもあり、政府は公的接種での使用を見合わせていましたが、8月から原則として40歳以上の人を対象に公的接種で使えるようになりました。

国内メーカー製も開発進展

国内ではこのほか、今年2月に米国で緊急使用許可が認められたジョンソン・エンド・ジョンソンのウイルスベクターワクチンが5月に承認申請。武田は、米ノババックスが開発した組換えタンパクワクチンを国内で

製造・供給することになっており、2月から初期の臨床試験を行っています。ノババックスは海外で行った臨床第3相（P3）試験で90%の有効率を示したと発表。9月6日には、来年初頭から1億5000万回分を供給することで厚労省と契約を結びました。

組換えタンパクワクチンは、サノフィとグラクソ・スミスクラインも開発を進めており、今年7月から国内でP3試験が行われています。

日本企業では、アンジェス（DNAワクチン）、塩野義製薬（組換えタンパクワクチン）、KMバイオロジクス（不活化ワクチン）、第一三共（mRNAワクチン）などが開発を行っています。

アンジェスは昨年12月からP2/3試験を行っていましたが、今月5日、安全性に問題はなかったものの期待する効果が得られなかったと発表。同社は、有効性の向上を狙って今年8月から高用量製剤を使ったP2/3試験を行っており、「今後は高用量製剤の開発に注力していく」としています。塩野義とKMバイオロジクスは10月からP2/3試験を開始し、第一三共は今月からP2試験をスタート。塩野義は最短で21年度中、第一三共は22年中、KMバイオロジクスは22年度中の承認を目指しています。田辺三菱製薬は、カナダ子会社のメディカゴが開発した植物由来ウイルス様粒子ワクチンのP1/2試験を10月から行っていて、22年度中の申請が目標です。

生産体制を整備
開発と並行して、生産体制の整備も進められています。政府は2020年度の第2次補正予算に、生産設備などの費用を補助する「ワクチン生産体制等緊急整備基金」として1377億円を計上。昨年の1次公募では、▽アストラゼネカ▽アンジェス▽塩野義製薬▽KMバイオロジクス▽第一三共▽武田薬品工業——の6社に総額900億円あまりが助成されました。今年の2次公募では、VLPセラピューティクス日本法人が143.4億円の助成を得ています。

塩野義は、アピとその子会社であるUNIGENと協力し、年内に年間6000万人分の生産体制が整う見通し

といます。KMバイオロジクスも、21年度末までに半年で3500万回分を生産できる体制を整備中。武田薬品は、ノババックスのワクチンについて、国内で年間2億5000万回分以上の生産能力を構築するとしています。

3回目接種へ
新型コロナウイルスワクチンをめぐっては、2回目の接種から時間がたつとともに抗体が減少することが報告されており、欧米各国では相次いで3回目の追加接種が始まっています。

日本では、医療従事者を皮切りに12月から追加接種が始まる見込み。欧米では多くの国が、追加接種の対象を高齢者など重症化リスクの高い人や医療従事者らに限定していますが、日本では2回の接種を受けたすべての人を対象とする方向で検討が進められています。追加接種の時期は、2回目から8カ月後が目安となります。

ファイザーは追加接種の承認を求めて申請を行っており、今月中旬にも正式に承認される見通しです。海外では、最初の2回と異なるワクチンを追加接種することを認めている国もあり、日本でも追加接種に使用するワクチンについて引き続き検討が行われます。

一方、ファイザーとビオンテックは今年9月、両社の新型コロナウイルスワクチンが5～11歳でも臨床試験で安全性と有効性を示したと発表。米FDAはこの年齢層に対する緊急使用を許可し、今月はじめから接種がスタートしました。日本でも今後、子どもへの対象拡大について議論が始めるとみられます。（公開：2021年1月14日/最終更新：2021年11月10日）



2021年度第4回運営委員会 議事録

2021年10月2日(土)10:45～11:40

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報 告：

3.1 11月、12月、1月の予定

11月 7日（日）	年間第三十二主日、ミサ（白鳥・楽山地区参加）、ミサ後11月の運営委員会、七五三のお祝い
11月14日（日）	年間第三十三主日、集会祭儀（典礼当番：楽山地区）、例会予定日
11月21日（日）	王であるキリストの祭日、ミサ（典礼当番：蘭岳地区）
11月28日（日）	待降節第一主日、集会祭儀（典礼当番：白鳥地区）
12月 5日（日）	待降節第二主日、ミサ（典礼当番：楽山地区）、ミサ後12月の運営委員会
12月12日（日）	待降節第三主日、集会祭儀（典礼当番：太平洋地区）、例会予定日
12月19日（日）	待降節第四主日、ミサ（典礼当番：白鳥地区）
12月24日（金）	降誕祭夜半のミサ、全員参加、
12月25日（日）	降誕祭、ミサ全員参加
12月26日（日）	聖家族の祝日、集会祭儀（典礼当番：楽山地区）
1月 1日（土）	神の母聖マリアの祝日、ミサ 10時
1月 2日（日）	主の公現の祭日、ミサ 10時（典礼当番：太平洋地区）

3.2 2021年度第二回ブロック会議（10/31）登別教会

- 挨拶、各教会からの報告、室蘭ブロック、苫小牧地区の報告の後、協議事項に入り
- ・葬儀関係の謝礼、献金等の規定についての交換があり、教会への献金については違いがあるが、司祭謝礼などはほぼ同じであった。特に統一することは必要が無いことを確認した。
- ・シノドスへの対応について（議題）
- ・ミサ等再開後の参加形態について 室蘭、登別は全員。東室蘭、伊達は半数ずつ。
- ・小林神父様の金祝のお祝い会について 地区連絡協議会で相談。

3.3 財務報告（別添資料参照）

収入はほぼ予算通り。支出は教区分担金や人件費分を教区に送金したので、予算を超えているが、年度末を待たずに処理したため、内容的には予算通りで問題は無いことを確認した。

4. 議 事：

4.1 11月からのミサ・集会祭儀の参加について

他の教会の状況やこの地区のコロナの感染状況などを参考に、感染防止に十分注意した上で、全員参加に戻すこととするが、積極的には参加を促さず、毎週のお知らせを変更し、典礼当番地区のみを知らせ、参加地区を限定した表現を止めることとした。聖歌の復活については、司教館に確認の上判断することとした。ただ歌わないまでもオルガンの演奏は山田淳さん他にお願いすることとした。

4.2 ライヤ神父様の誕生日（11/7）霊名の記念日（12/3）のお祝いについて

11月21日のミサ後、簡単な食事を用意してお祝い会をすることとしたが、食事をするかどうかは当日の状況で判断する。食事の準備等は女性部にお願いした。

4.3 七五三への対応

11月の第一主日（11/7）に神父様から祝福をお願いし、女性部に準備をお願いしたプレゼントを贈りました。当日出席者は3名。

4.4 待降節前の大掃除について

11/14に参加者のみで普段の掃除よりは丁寧に実施する。ワックスがけはしない。窓拭きは時間があれば、内側のみ行う。外側は岩泉さんが拭き終わっていました。ありがとうございました。

4.5 クリスマスの飾り付けについて

12/12 集会祭儀後に行う。

4.6 降誕祭及び新年のミサについて

12/19 ミサ中に共同回心式
12/24 降誕祭夜半のミサ、午後8時。参加は制限しない。
12/25 降誕祭日中のミサ、 午前9時30分。参加は制限しない。
12/24のミサ後は例年通りミニパーティー（アルコールはなし）
12/25のパーティーの食事については状況（神父様のお祝い会など）を考慮して判断する。
1/1, 1/2, 1/3 3日とも午前10時 1/1はミサ後新年交礼会

4.7シノドスへの対応について

フランシスコ教皇は今度のシノドスについて、代表司教からの意見だけではなく、全司祭、全修道者、全信徒など下からの意見や提案を期待しているので、各小教区などでの検討を求めている。そのため各小教区には11月10日までにシノドス担当者（担当グループ）の選任が求められています。シノドス担当者には11月19日（金）午後7時からZoom（オンライン）で役割の説明があり、その後来年2月中までにその結果の報告が求められています。当教会では男女1名ずつの若い担当者をお願いすることとし、竹原さんと山田淳さんをお願いした。11/10までに神父様から司教に報告をお願いしました。

4.8ルンバの購入について

聖堂及びホールの掃除のための、電動掃除ロボット”ルンバ”購入に関して、性能や価格などを調査することとし、作業を山田淳さんをお願いした。来月の運営委員会で検討する。

4.9 その他

- ・入門講座は年内12月23日から休み。
- ・海星学院から今年度も例年のように「書き損じ年賀はがき」の提供の依頼がありましたので、皆さんに呼びかけることとしました。

5. 司祭の予定

特別の予定は無く年内在蘭の予定。ただし感謝祭（11月第四週）には苫小牧です。

6. ミサ・集会祭儀の予定

11/7 ライヤ師	11/14 集会	11/21 ライヤ師	11/28 集会	12/5 ライヤ師	
12/12 集会	12/19 ライヤ師	12/24 ライヤ師	12/25 ライヤ師	12/26 集会	